

OMNIBUS

大阪医科大学図書館報 / 大阪医科大学附属看護専門学校図書室報

C O N T E N T S

図書館長就任のご挨拶と今後の抱負〔黒岩敏彦〕	2
趣味の読書から視野を広げるための読書へ〔徳永麻里子〕	3
図書館利用状況	4
出張報告〔宮本〕	5
本学教職員著作寄贈	6
お知らせ	7
図書館業務日誌	8
編集後記	8



紫陽花

図書館長就任のご挨拶と今後の抱負

黒岩敏彦



本年4月1日より、任期を終えられました河野公一教授の後任として図書館長に就任いたしましたので、一言ご挨拶と今後の抱負を申し上げます。

1953年に就任された初代の栗原善夫先生から数えて私で11代目になります。諸先輩方が、時代の要請に答えながら、あるいは先取りする形で連綿と築き上げてこられました歴史ある図書館、特に先代の河野教授によってより一層の近代化が図られました施設の管理運営を引き継ぎますことは、大変光栄でありますとともに責任の重さを痛感しております。

ご存知のように、本学図書館は20万冊近い蔵書数とオンラインジャーナルを含めて3800誌に及ぶ雑誌数という膨大な情報量を誇っています。さらに、1994年に新築され、閲覧座席数250席と個室10室を有する充実した設備の評価も高く、国内でも有数の医学部図書館とされています。しかしながら、大幅な予算削減や情報の電子化といった押し寄せる大きな波、そして2年後にその任を終える看護専門学校と今年新設された看護学部、さらには関西大学・大阪薬科大学との三大学医工薬連環といった本学独自の事情も加わり、多くの解決すべき問題に直面しているのも事実です。また、学生や教職員だけでなく、地域医師会、仁泉会、そして関連病院からの本学図書館利用も増加傾向にあり、その状況にも対処していかなければなりません。さらに、数年来の懸案事項である、市民あるいは患者様とご家族に向けた図書室の開設要望に大学として答えるのも今後の課題です。病棟単位あるいは病院ボランティア室を中心に、患者様図書サービスとして既に行われ始めておりますが、図書館としてどのように関与できるか考えていきたいと思っております。

図書館の充実度は大学の将来を左右すると言っても過言ではありません。大学を支えるのは人、人を育てるのに大きく貢献するのが図書館であります。大学人としての有為な人材育成のために、医学部・看護学部の学生には一般教養や基礎的医学知識を、教職員には最新の基礎的・臨床的情報などを中心に、いつでも学内のどこからでも必要な情報が利便性良く入手できるようにしていかなければなりません。今後、情報の電子化がさらに進む中、図書館機能の充実がますます重要になってきます。将来的に、図書情報だけではなく医療情報も含めてあらゆる大学関連情報の電子化が予想され、図書館も含めて大学組織のあり方も変わってくるかも知れません。これらの時代の変遷に適切に対処するために、引き続き図書館運営委員会・図書館合同運営委員会・PDCA委員会によって検討していきたいと思っております。さらに、図書館将来計画検討委員会によって、平成17年10月に策定された大阪医科大学図書館将来計画の実施状況を検証し、時代に即した形で体制を整備し実施するための、図書館将来構想実施委員会を立ち上げて協議していきたいと思っております。

教職員各位、学生諸君のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(くろいわ・としひこ 図書館長、脳神経外科学教授)

略歴

1954年 1月12日生	1986年 8月 大阪医科大学助手 (復職)
1979年 3月 大阪医科大学 卒業	1989年 2月 大阪医科大学講師
1985年 4月 大阪医科大学助手	1991年 2月 大阪府三島救命救急センター医長
1985年 7月 米国モンテフィオーレ病院へ 留学のため休職	1994年 4月 大阪医科大学講師
	2000年 4月 大阪医科大学教授

趣味の読書から視野を広げるための読書へ

徳 永 麻里子

私は小さい頃から本を読むことが好きでした。ページが進むごとに次はどうなるのだろう、とワクワクした気持ちになれるというところが、私にとっての読書の魅力のひとつです。私が読む本は、ファンタジーや小説、エッセイなど読んでいて楽しくなるようなものばかりです。本の主人公の気持ちに感情移入しやすく、暗く重い内容だと、自分自身も落ち込んだ、悲しい気持ちになるので、明るい、楽しいような内容の本ばかり選んでいました。

最近、読んだ本は「手紙」という本で、犯罪加害者の家族の生活を通し、人の絆とは何か、いつか罪は償えるのか、犯罪とはどういうことかについて書かれていました。主人公には強盗殺人の罪で服役中の兄がいます。進学、恋愛、就職と、主人公が幸せをつかもうとするたびに、「強盗殺人犯の弟」という運命が立ちはだかり、主人公はいろいろなものを失っていきます。獄中から月に一度、手紙が届きますが、その手紙が「強盗殺人犯の弟」という事実を意識させ、ついには兄を恨むようになります。そして、自分の人生と大切な人を守るため、兄を捨てる覚悟をします。犯罪加害者の家族になったというだけで、主人公は進学、就職、友人など全てのことを失ってしまいました。

今まで、ニュースで事件の報道を目にしても、被害者やその家族のことを考えるばかりで、加害者やその家族のことは深く考えることはありませんでした。被害者家族はもちろん、加害者家族も違う辛さに苦しんでいるということを感じました。主人公が強盗殺人犯の弟というだけで差別され、思い悩んでいるところへ、ある人が「差別はね、当然なんだよ。犯罪者やそれに近い人間を排除するというのはしごくまっとうな行為なんだ。われわれは君の事を差別しなきゃならないんだ。じぶんが罪を犯せば家族をも苦しめることになる—すべての犯罪者にそう思い知らせるためにもね。」といった言葉が特に印象に残っています。差別は当然してはいけないことであり、社会全体がそういう人たちに対して差別しているなど認めるはずがないと思っていました。しかし、こういう考えもあるのかと思い、驚きました。もちろん罪を犯すことは絶対にしてはいけませんが、自分がしてもいない罪が原因で社会から差別を受けるのは不当だと思います。しかし、私も主人公のような人物が身近にいたら差別をしようとは思っていなくても、無意識のうちに遠巻きにしてしまうのではないかと思いました。

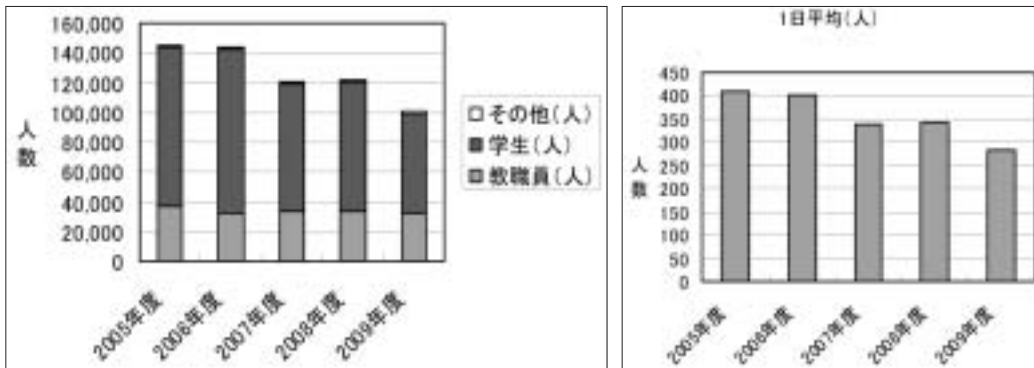
この「手紙」という本は、読み進むにつれ考えさせられたり、気分が落ち込んでいきました。読み終えた後は暗く思い気持ちになりましたが、私の知らなかったことや考え方を知り、自分の考えの狭さや、見えていないことが多いと気づきました。そして、読書は自分以外の考えや体験を知ること、自分の視野を広げることができるのだと実感しました。これからは、趣味としてだけでなくさらに視野を広げるためにも積極的に本を読みたいと思います。

(とくなが・まりこ 看護専門学校3年)

図書館利用状況

(2005年度～2009年度の推移)

1. 入館者数

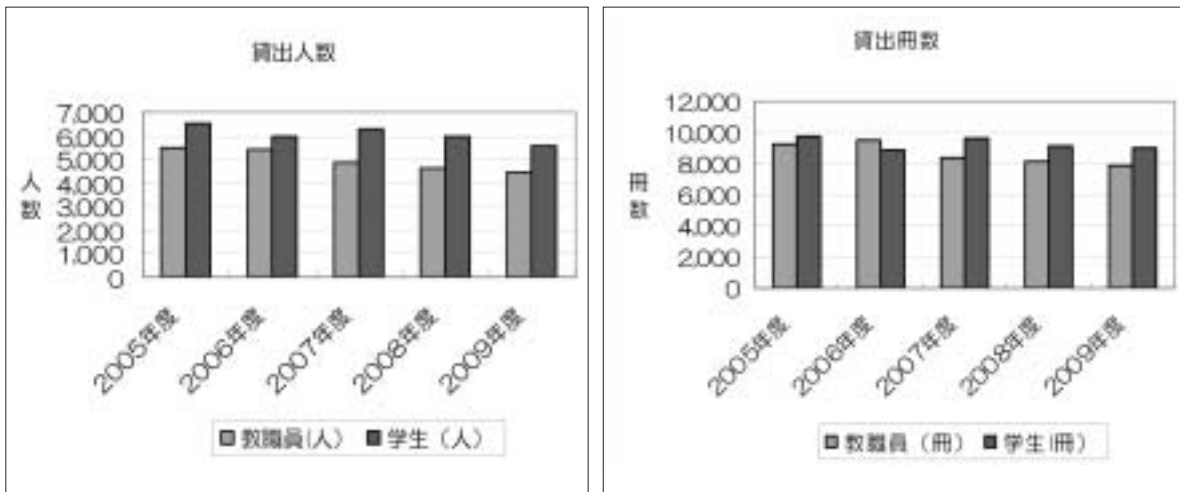


	教職員(人)	学 生(人)	その他(人)	合 計(人)	1日平均(人)
2005年度	37,433	106,514	1,238	145,185	408
2006年度	32,330	109,837	1,291	143,458	403
2007年度	33,175	86,591	1,353	121,119	338
2008年度	33,279	86,848	1,894	122,021	343
2009年度	32,032	67,066	1,762	100,860	283

入館者数計測システムが計測した入館者数の5年間の推移です。

入館者数は減少の一途をたどっています。学生では自習の場が整備されたこと、教職員では研究室から直接オンラインで情報入手されていることなどがその理由のようです。

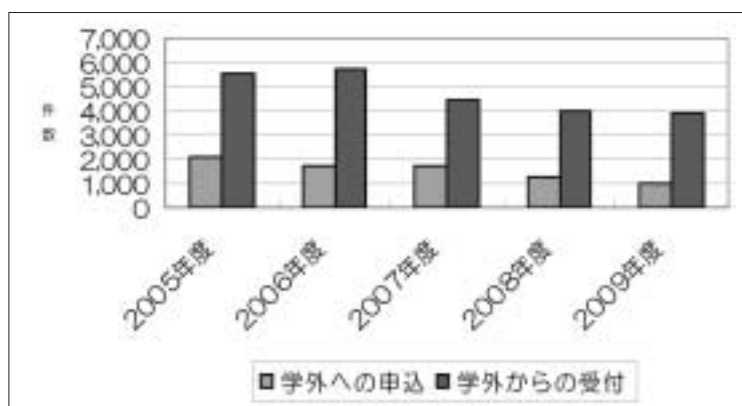
2. 貸し出し



	教職員(人)	教職員(冊)	学 生(人)	学 生(冊)
2005年度	5,458	9,282	6,532	9,698
2006年度	5,438	9,532	6,004	8,895
2007年度	4,860	8,332	6,245	9,591
2008年度	4,653	8,063	5,939	9,175
2009年度	4,428	7,835	5,587	9,007

入館者数とともに貸し出し数も減少しています。1. の場合と同じく、オンライン化の影響が考えられます。

3. 相互貸借



	学外への申込	学外からの受付
2005年度	2,108	5,579
2006年度	1,689	5,718
2007年度	1,716	4,439
2008年度	1,313	4,001
2009年度	1,043	3,949

申し込み、受け付けとも減少しています。これは全国的な傾向で、これも雑誌の購読形態が変化していることの現れのようにです。

出張報告

第81回特定非営利活動法人日本医学図書館協会総会

宮本

平成22年5月28日(金)～29日(土)、東京都千代田区の日本歯科大学において、第81回特定非営利活動法人日本医学図書館協会総会が開催され参加しました。

内 容

5月28日(第1日) 通常総会

『特別講演』 「ウィリアム・オスラーの愛読書と図書への情熱」

—聖路加国際病院理事長 日野原重明

新任館長・新任主任司書

平成21年度評議員会への会長諮問及び答申書

役員選挙結果報告及び承認

新役員紹介・新会長挨拶

議題審議

平成21年度事業報告

平成21年度決算報告・監査報告

平成22年度事業計画(案)

平成22年度予算(案)

「専門職能力開発に関するアンケート調査」実施報告

平成22年度～平成24年度中期重点事業（目標）
平成22年度評議員紹介

5月29日（第2日） 分科会【セッション1】

- A これからの電子メディア
- B 医学図書館員の専門性とキャリア育成

分科会【セッション2】

- C 図書館のデザイン戦略
- D 病院図書館と看護図書館の連携

記 事

本総会は前総会にて承認された事項「総会運営については、開催地を協会事務局の所在地東京とし、向こう3年間試行し総会運営方法を完成させる」に副って開催されました。

本総会のための特別講演として聖路加国際病院理事長日野原重明先生に、ウィリアム・オスラー博士の読書生活とその愛読書について語っていただいた。

審議事項において重要であったのは、日本医学図書館協会の平成22年度～平成24年度中期重点事業（目標）の策定であった。その中には1. 医学図書館（協会）の必要性と社会貢献のあり方を具体的な活動によって示す。2. 会員機関の図書館サービス充実と会員個々のスキルアップをめざす。3. 組織・運営及び法人形態を再検討する。4. 関連機関・団体との連携を図る。以上の項目が盛り込まれた。

分科会については、「A. これからの電子メディア」と「C. 図書館のデザイン戦略」に参加した。「A. これからの電子メディア」では、電子ブックの普及や日本語資料の電子化に関して出版社からの現状報告を受けた。とくに日本国内の出版社による電子化について質問が多く出され、今後の電子出版のあり方について意見交換を行った。「C. 図書館のデザイン戦略」では、質とサービスの向上を目的とし魅力ある図書館づくりのヒントになるよう「図書館のアメニティー」や「ラーニング・コモンズ」が話題として提供された。その一つの方法としてラーニング・コモンズが紹介され、図書館の学習環境を現在のカリキュラムや学習方法に即したものに提案が出された。

総会のあり方について規模の縮小と運営方法の見直し、また担当する地区会及び担当機関の負担軽減が図られた総会となった。

（みやもと 図書館課長代理）

本学教職員著作寄贈

（平成21年11月～平成22年5月分）

藤本 守 先生（名誉教授・元学長） 寄贈日：2009年12月4日

水と緑茶：日本人の健康：医学生理学を理解するために／藤本 守著 2009.9 藤本 守

河野 公一 先生（衛生学・公衆衛生学教室I教授） 寄贈日：2009年12月4日

動物由来感染症マニュアル／河野公一 [ほか] 編 2009.11 金芳堂

勝岡 洋治 先生（泌尿器科教授） 寄贈日：2009年12月22日

スタディメイト泌尿器科学／勝岡洋治編 2009.12 金芳堂

中山 太郎 先生（本学OB） 寄贈日：2010年 3 月16日

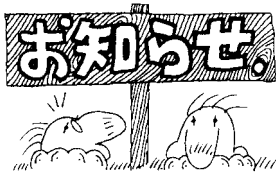
実録憲法改正国民投票への道／中山太郎著 2008.11 中央公論新社

本学耳鼻咽喉科学教室 寄贈日：2010年 4 月26日

竹中洋教授退職記念大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室業績集1997～2009／大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室 2010 大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室

澤 ふみ子 技術員（附属病院眼科） 寄贈日：2010年 4 月26日

眼鏡調整（あわせ）の達人：めがせ！ 快適なめがね：困ったときに役立つ25事例／澤 ふみ子著、菅澤 淳監修 2010.3 メディカ出版



1. Mini BUSをお届けいたします

従来図書館からのお知らせとして、「大阪医科大学図書館報：OMNIBUS」を発行しています。しかしながら図書館報OMNIBUSは年2回の発行のため速報性に欠けるところがありました。そこで本年4月よりそれを補完するためにMini BUSを発行してお届けすることにしました。



Mini BUS No.1



Mini BUS No.2

また図書館ホームページ「<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/lib/minimoku.htm>」でpdfファイルでも提供しています。

2. テーマ展示のお知らせ

- 論文、レポートの書き方についての資料を2階情報検索コーナー横に集めました。所蔵資料のうちのほんの一部ですが、どうぞ執筆の参考にご利用ください。
- 図書館ではテーマを決めて所蔵資料をピックアップし、皆様に紹介しています。このコーナーは3ヶ月を目途に展示替を行います。ぜひ一度ご覧ください。



3. 受入中止雑誌（看護専門学校図書室）

日本看護管理学会誌 1（1997）—12（2009）

図書館業務日誌

- | | |
|---|--|
| <p>平成21年12月</p> <p>4日(金) 日本看護図書館協会教育・研修委員会(於、図書館館長室)</p> <p>8日(火) 看護専門学校図書館委員会(於、図書館グループ学習室)</p> <p>21日(月) 図書館合同運営委員会・P D C A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>22日(火) 第1回図書館長選挙管理委員会(於、図書館館長室)</p> <p>平成22年1月</p> <p>7日(木) 日本医学図書館協会診療ガイドライン作成説明会館員参加(於、関西医科大学)</p> <p>18日(月) タイマヒドン大学・中国医科大学・オーストラリア国立大学学生当館見学</p> <p>25日(月) 図書館合同運営委員会・P D C A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>25日(月) 第2回図書館長選挙管理委員会(於、図書館館長室)</p> <p>28日(木) 日本看護図書館協会教育・研修委員会館員参加(於、京都府立医科大学)</p> <p>2月</p> <p>9日(火) 次期図書館長選挙公示</p> <p>9日(火) 看護専門学校図書館委員会(於、図書館グループ学習室)</p> <p>22日(月) 図書館合同運営委員会・P D C A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>25日(木) ~26日(金) 次期図書館長選挙</p> <p>27日(土) 三大学医工薬連環科学教育研究機構主催高槻家族セミナー館員運営担当(於、大阪薬科大学)</p> <p>3月</p> <p>4日(木) 日本看護図書館協会教育・研修委員会(於、図書館館長室)</p> <p>5日(金) 韓国カソリック大学医学部関係者当館見学</p> <p>11日(木) 看護専門学校図書館委員会(於、</p> | <p>図書館グループ学習室)</p> <p>17日(水) 三大学医工薬連環科学教育研究機構運営協議会館員参加(於、本学第1会議室)</p> <p>17日(水) ハーバード大学公衆衛生大学院関係者当館見学</p> <p>18日(木) スタンフォード大学医学部関係者当館見学</p> <p>4月</p> <p>1日(木) 黒岩敏彦図書館長就任</p> <p>2日(金) 新入職職員図書館見学</p> <p>6日(火) 看護学部新入生オリエンテーション(於、北キャンパス及び図書館)</p> <p>9日(金) 医学部新入生オリエンテーション(於、講義実習棟)</p> <p>15日(木) 看護学部新入生オリエンテーション文献検索説明(於、北キャンパス)</p> <p>16日(金) 看護専門学校図書館委員会(於、図書館グループ学習室)</p> <p>17日(土) 日本看護図書館協会総会館員参加(於、国立看護大学校)</p> <p>26日(月) 図書館合同運営委員会・P D C A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>5月</p> <p>1日(土) 学33期生当館見学</p> <p>14日(金) 日本看護図書館協会教育・研修委員会(於、図書館館長室)</p> <p>14日(金) 日本医学図書館協会近畿地区例会館員参加(於、大阪大学生命科学図書館)</p> <p>18日(火) 看護専門学校図書館委員会(於、図書館グループ学習室)</p> <p>24日(月) 韓国カソリック大学学生当館見学</p> <p>24日(月) 図書館合同運営委員会・P D C A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>28日(金) ~29日(土) 日本医学図書館協会総会館員参加(於、日本歯科大学)</p> |
|---|--|

編 集 後 記

今回の巻頭言は平成22年4月より新図書館長に就任されました脳神経外科教室黒岩敏彦教授に記事をお願いしました。表紙のカットは今回も職員OBの鈴木豊明氏からいただきました。

皆様からの投稿記事を歓迎いたします。OMNIBUSに対するご意見もお寄せ願います。(宮本)

OMNIBUS「大阪医科大学図書館報／大阪医科大学附属看護専門学校図書館報」

No.37号 2010年7月9日 発行

編集・発行 大阪医科大学図書館

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL (072) 683-1221

(内線2799, 2621)

印刷 大日本印刷株式会社